

1482

写真複写

自 昭和二十年五月一日
至 昭和二十年八月二十六日

軍 機 電 報 綴

防衛研究所戦史室



5 6 7 8 9 1 2 3 4 5 6 7 8 9 1 2 3 4 5 6 7 8 9 1 2 3 4 5 6 7

リリス

(ONLY THIS PART)

国際マイクログラフ工業社 複写係

(K)

1482

写真複写

④
電報
7

5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7

リリス
 (ONLY THIS PART)
 佛国際マイクログ写真工業社 複写係
 (K)

五 一 受信開始 〇〇七六〇二〇 譯丁 〇七五一 電 〇〇〇二〇〇三 作 概 〇

作戰特別緊急 展

● 沖 繩 特 根 〇

● 東通・佐通・鹿屋航空基地・小岡山司令部

機密第 〇一〇二三八番電 二分ノ一二

宛 G F 参謀長 五 A F 参謀長 一 A F 参謀長 佐領参謀長

次 長

陸軍ハX日(五月四日)ヨリ北方ニ對シ乾坤一擲ノ攻勢ニ轉ズルニ決
セ就而航空攻撃ノ目標ヲ左ノ如ク限定實施陸軍ノ攻撃ニ直接協力方切
ニ希望申出アリ然ルベク取計ヲ得度
一 二日三日兩日嘉手納沖及中城灣ノB F 爲シ得レバD F 徹底的掃滅
二 攻撃開始前ノ北中飛行場ノ強度削壓
三 攻撃開始後モ右ニ準シ南協的攻撃ノ持續

(東通註 G F 通報表示済)

通一五七一六五 月一△ケ七(B) 佐通

五九 受信 〇八四四 解了 一〇一一
作戦緊急 展 〇〇〇〇
電増電電電 〇〇〇〇
四四四四 四四
五五五五
三三〇〇
六五五五

佐通・東通・鹿屋航空基地
機密第〇九〇二〇九番 五分ノ下二三四五

宛 佐鎮長官 軍令部次長 大本營海軍參謀部第一部長 參謀長
第三二軍ハ首里ヲ包含兩翼ヲ東西海岸ニ布陣スル現陣地帯ニ依リ飽
ク迄長期戦略持久ヲ企圖セル所兵力損耗次第ニ増加セル現狀ノ爲海
軍部隊ヨリ機動可能兵力ヲ削キ現防備地區ヨリ首里方面ニ機動戦闘
ニ参加セシメントスル計畫アリ
本陣ハ第三二軍總攻命ニ從フハ當然ノコトナルモ茲ニ特ニ慎重ニ
考フベキ重大事項ハ右ニ隨ヘバ主機動兵力トナルモノハ折角長期ニ

1510

五五〇〇二八五〇三三
三三三三三三三三
八四五〇三三
月一ヶ七(七四六〇)カニケ谷

(一)

沖繩 作戰要務

1510

作戰緊急
轉展

五九
受信
〇〇八
一四
五

佐通。東通。鹿屋航空基地

沖根

機密第〇九〇二〇九番

五分ノ一三三四五

〇〇〇〇
四四四四
五五五五
三三〇〇
六五五五

宛 佐鎮長官 軍令部次長 大本營海軍參謀部第一部長
第三軍ハ首里ヲ包含兩翼ヲ東西海岸ニ布陣スル現陣地帯ニ依リ飽
ク迄長期戦略持久ヲ企圖セル所兵力損耗次第ニ増加セル現狀ノ爲海
軍部隊ヨリ機動可能兵力ヲ削キ現防備地區ヨリ首里方面ニ機動戦團
ニ参加セシメントスル計畫アリ
本陣ハ第三軍總攻遂命ニ從フハ當然ノコトナルモ茲ニ特ニ慎重ニ
考フハキ重大事項ハ右ニ隨ハバ主機動兵力トナルモノハ折角長期ニ

五五五
〇〇〇
三三三
八八八
〇〇〇
三三三
五五五
月一
七
七
〇
〇
カニケ谷

互に築城者も多数兵器の承取砲高角砲の射撃地帯の變化(砲撃線)の施設
設け放棄僅ニ七格を以て主兵器トスル弱体化セルモノトナルノミ
ナリ野戦機動ノ裝備(機動車)一例ニ取ルモ無之キ第一線ニ至リ
新築陣地サハ加リ得ズ陸軍ニモ供給餘力ナシト野戦ノ經驗絶無ノ
爲極端ニ戦力低下スベキ右機動兵力ヲ除ク殘留兵力ハ重火器ヲ使用
スル能力無ク且擁護兵力無ク陣ヲ主隊トスル島台ノ衆トナル結果海
軍兵力ヲシテ要塞ヲ放棄シ要塞兵ヲ歩兵トシテ使用スルノ愚ヲ敢ヘ
テ書ルモノニシテ第三二軍ノ要塞ニ沿マガ如キ成果ヲ得ザルモノナ
リ本職ハ右兵力ヲ以テ現配備地區ニ就カシムル時ハ充分戦力ヲ發揮
シ得ルヲ確信シアリ今後共國土防衛ニ關シ海軍部隊ガ陸軍ノ指揮下
ニ作戰スル事ト多カルベク今次第三二軍ノ企圖スル處ニ際マコトハ
「ルソン島」飛行場ニ於テ海軍航空隊ガ過早多數ノ高角砲ヲ放棄シ
タル戰訓モ有之將來ノ先例トモナルベク慎重研究ノ要アリト認ムル
ニ就キ此ノ場合ノ準備ニ關シ何分ノ指示ヲ仰キ度。

五九 受信一五〇九 了二六〇九 寛〇四六〇四 作部〇
開始一五三五

緊急展報

支那方面艦隊口

東浦・聯合艦隊口

機密第〇九〇九一六番記 二分ノ一

宛 大海參一部

一、情勢ノ變化ニ伴ヒOSS機密第一六〇九一〇番記(四月)通り陸
軍兵力動用ノコトトシ支那派遣電トノ間ニ別冊(後送)ノ通協定
ヲ了セリ

三、陸軍兵力増進後ハOSSトシテハ艦隊現狀備ヲ續行スル方針ナリ。
(通信課註 本電二分ノ二未着)

通五一七八 呂ニAヶ十一(一四九三)SSト海 中島(猪)海

五 一〇 受信 一二二八 丁 一二五六 〇五〇二〇 作本 〇

事務親戚

● 高橋、沖藤 〇
● 大本海軍部・佐野 〇

機密第一〇〇八四八番電

〇 〇 謀長

宛 第三二軍参謀長

通致 一〇方面軍参謀長

〇 今後ノ作战方針ハ航空可動兵力ヲ以テモトシテ沖繩島遠征艦船ニ
關シ戰術ナル攻撃ヲ組織シテ之ヲ掩蔽セントスルモノニシテ情況有
利ニ進展トバ奄美大島群島及先島群島ニ航空基地ヲ進駐艦隊攻撃
ヲ強化スルト共ニ敵輸送船ヲ沖繩南東方洋上ニ捕獲擊滅シ沖繩所在
ノ敵ヲ孤立セシムルコト可能ナリトモアリ而シテ沖繩島遠征艦艇ノ

五五七二・五五八〇 區一A七七 (一二六五〇) 五A四七 右中 (中電) 誤印 (一)

1515

終り (一)

終り (一)

五 一〇 受信 一一三九 丁 一二五六 三 五三二〇 作本〇

緊急親展

高警 沖繩根

大本營海軍部・佐藤

機密第一〇〇八四八番電

二分ノ一二

〇 四 參謀長

宛 第三二軍參謀長

道環 一〇 方面軍參謀長

〇 今後ノ作戰方針ハ航空可動全カヲ以テ主トシテ沖繩周縁艦船ニ
對シ攻撃ナル攻撃ヲ繼續シテ之ヲ掃蕩セントスルモノニシテ情況有
利ニ進展トバ奄美大島群島及先島群島ニ航空基點ヲ推進對艦船攻撃
ヲ強化スルト共ニ敵輸送船ヲ沖繩南東方洋上ニ捕捉擊滅シ沖繩所存
ノ敵ヲ孤立セシムルコト可能ナリト敵メアリ而シテ沖繩周縁艦船

五五七二・五五八〇 出 一 A 七七 (一) 二六五 (C) 五 A 百 右 中 (後田)

1515

GB
沖繩
三三
三三
三三

終り

掃蕩ニ成功トバ雖遂ニ以テタル緊急ニ企圖ヲ有ス從ツテ當方
トシテハ貴軍ガ急速ナル兵力ヲ消耗ヲ避ク堅陣ニ依リテ敵ヲ吸引シ
飽ク迄輒強ナル作戰ヲ實施シ進展ヲ待タレンコトヲ切望スル次第ナ
リ。

五 一 〇 受信一〇四四 轉丁一三二〇 電〇五〇一九 作電〇
譯始一〇五〇

緊急親展

無線機所用共通符號

④ 詰問空

機密第一〇〇八五ニ番電

一 K P G B 天電合作特第三號

詰問部隊ハ二式飛行艇二機ヲ以テX日(特令ナクレバ十二日トス)
前回ノ要領ニ依リ丹作戦艦艇偵察及攻艦隊ノ誘導ニ任ズベシ 但シ
沖ノ島高測達線北西方側九番二線日標彈投下間隔ヲ五秒トス。

通五五五六 呂一A 十一(二八七五〇)一K P G B 放

このみ

一 二 受信 一七八日 一 一 九一六 電 〇六一二 航作 本機

親野 緊急 諒 固 空

● 指橋航線基地

● 沖繩機・鹿屋航線基地

機種等「一二四」六番機

宛 丁三〇二飛行隊長

丁三〇二飛行隊長、水偵ヲ以テモロロ備置合作時第一機ニ依ル沖繩
艦身連絡ヲ實施スヘキ計畫ヲ決定シ速カニ通報スヘシ。

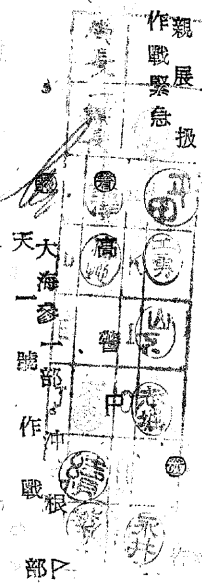
第 六 八 〇 六 呂 一 八 分 七 (九 八 三) 佐 二 放 松 田 (森 田)

1537



五
四
三
二
一
開始一四三〇

親展
作戰緊急



機密第一四一四一四一番電

海軍總隊參謀長

宛 第十方面軍參謀長

通報 第三二第八飛行師團

敵機動部隊ノ九州方面策動ト關聯シ沖繩方面ノ戰局ハ球参電第三三一號
ノ通ニ鑑ミ海軍總隊指揮下航空兵力ハA B 電令作勢二八號ノ如ク指導セ
ラルルニ就テハ第八飛行師團全カヲ以テ密ニ協力方配慮ヲ得度

返七八一七 呂一Aケ七(七八七五KC)一RFGB放 佐瀬(機) 澤